

cobaさんと小田矢かなさん

# 日向市がへべす大使に任命

日向市は、日向特産の平兵衛酢（へべす）の魅力を広く伝える「へべす大使」の一人として、新たにアコーディオニスト

で作曲家のcobaさん（59）と、同市出身の歌手小田矢かなさん（年齢非公表）を選んだ。その任命式が21日、市役所市

長室で行われた。

cobaさんとバイオリニストの古澤巖さん（59）、雅楽師の東儀秀樹さん（58）とのユニット「TFC55」による日向公演「TFC55 LIVE 東儀秀樹×古澤巖×cobaコンサート」が、前日に市文化交流センターで開かれたことに



十屋市長から、へべす大使を任命されたcobaさん＝右＝と小田矢かなさん（21日、日向市長応接室）

合わせ任命式を行った。

cobaさんは平成28年に行われた「TFC55」のコンサートの際に、土産に購入したへべすを気に入って以来、知人や友人、有名シェフなどに「へべす」の良さを紹介しているという。

十屋市長から「任命の証」とへべすの土産を受け取ったcobaさんは、「おいしい物は必ず一人歩きしますが、へべすもその中の一つ。シェフの友だちも多く、知らない人たちがまだまだいるので、へべすの良さを広く伝えていきたい」と話

した。

小田矢かなさんは自身のプロフィールの中で好物として「へべす」を挙げているほか「へべすの唄」までリリースしている「へべすファン」とてもうれしい。大好きなへべすを日本だけでなく、世界の人たちに伝えられるようなアーティストになりたい」と笑顔を見せた。

同市によると、「へべす大使」は2人を含め、バイオリニストの古澤さん、同市出身のプロ野球選手青木宣親選手（36）など合わせて7人になった。



# あふれる熱気と笑顔

## 前後に雨も 出合い神輿、総踊り最高潮

第4回まつり（実行委員長）「本通り（市役所）のべおか」は21日、延岡市の川中（旧延岡消防署）一帯で、会場は熱気と笑顔に包まれた。

では法被姿の小学生が元氣に神輿を担ぎ、大人数約1200人による出合い神輿では威勢の良い「サイヤ、サイヤ」の掛け声で熱気は最高潮に。45団体約3000人が参加したばんば総踊りで、は、そらいの浴衣や法被、踊り後の閉会宣言後、土砂降りの雨、祭りの開催を願う実行委員、市民たちの思いが通じたようなまつりのべおかもあった。花火大会は28日午後8時から行われる。打上げ場所は同市の大瀬大橋下流の右岸河川敷。1万発の花火を打ち上げる。（6、7面に写真特集）



中央通交差点一帯を熱気に包んだ出合い神輿



ズアリーナ



大勢の見物客の前で豪快に競り合う2基の太鼓台（22日、細島商業港）

## 勇壮に喧嘩組み合わせ 太鼓台2基が威勢良く

細島祭り

日向市細島の「細島みなと祭り」は22日までの3日間、細島商業港一帯で開かれた。最終日はメインイベントの2基の太鼓台による勇壮な「喧嘩組み合わせ」があり、多くの見物客を惹きました。主催は、同祭りの実行委員会（三輪修司実行委員長）。

最終日の22日午後5時30分、太鼓の音が町内に鳴り響き、重さ約2トもあるという太鼓台、東若「陣右」の2基が登壇。法被姿の男衆や乗り子が、

「サイヤ、サイヤ」と威勢の良い掛け声を打ちながら町内を練り歩いた。切りが暗くなり始めた同7時半ごろ、細島保育所前で向き合った2基は、じじいと間合いを詰め、重なり合うと周囲から歓声が上がった。祭りは「おきおんさん」の名で親しまれる八坂神社の例大祭。明治22年の町制施行を記念して始まり、今年で129回目。期間中は、神輿（みこし）を乗せた漁船団が沖合で安全祈願する海上渡御（とぎま）や魚のつかみ取り、イワガキの詰め放題など多彩なイベントで盛り上がった。